

**平成22年度  
第2四半期(上半期)報告  
説明資料**

平成22年11月26日  
明治安田生命保険相互会社

# 契約業績のポイント①

## ○ 保険料等収入の状況

(単位：億円)

	平成22年度		平成21年度 上半期
	上半期	前年同期比	
保険料等収入	18,034	15.2%	15,659
うち個人保険・個人年金保険	13,073	25.1%	10,448
うち団体保険・団体年金保険	4,729	△4.9%	4,970

### ・うち営業職員チャネルの状況

(単位：億円)

	平成22年度		平成21年度 上半期
	上半期	前年同期比	
保険料等収入	6,916	1.8%	6,792

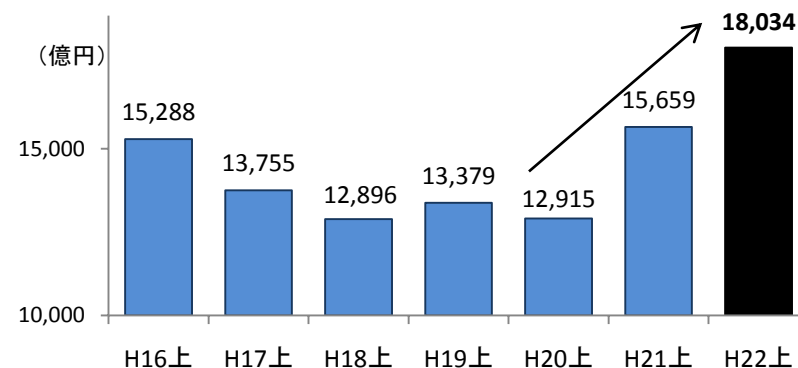
### ・うち銀行窓販チャネルの状況

(単位：億円)

	平成22年度		平成21年度 上半期
	上半期	前年同期比	
保険料等収入	5,850	72.1%	3,399

## 保険料等収入

平成16年1月の合併以来、  
上半期業績としては過去最高を更新  
1兆8,034億円(前年同期比15.2%増加)



◇ 営業職員チャネルおよび銀行窓販チャネルは  
ともに好調に伸展。個人保険・個人年金保険  
は前年同期比25.1%の増加

### うち銀行窓販チャネルの状況

5,850億円 (前年同期比72.1%増加)

- ◇ お客さまの安定志向と相続ニーズの高まりを反映
- ◇ 取扱金融機関が拡大し、一時払終身保険が好調

## 契約業績のポイント②

### ○ 新契約の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円）

	平成22年度		平成21年度 上半期
	上半期	前年同期比	
新契約年換算保険料	940	10.1%	853

#### ・うち営業職員チャネルの状況

（単位：億円）

	平成22年度		平成21年度 上半期
	上半期	前年同期比	
新契約年換算保険料	439	12.5%	390

#### ・うち銀行窓販チャネルの状況

（単位：億円）

	平成22年度		平成21年度 上半期
	上半期	前年同期比	
新契約年換算保険料	485	8.1%	448

### ○ 保有契約の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円）

	平成22年度		平成21年度末
	上半期末	前年度末比	
保有契約年換算保険料	17,750	1.7%	17,446

#### 新契約年換算保険料

**940億円** （前年同期比10.1%増加）

- ◇ 明治安田チャレンジプログラムの推進により営業職員および銀行窓販チャネルともに前年同期を上回る業績を確保

#### うち営業職員チャネルの状況

**439億円** （前年同期比12.5%増加）

- ◇ 個人営業改革を通じたマーケット対応力の強化により、新規主力商品・貯蓄性商品が好調

#### 保有契約年換算保険料

**1兆7,750億円** （前年度末比1.7%増加）

- ◇ 平成20年度末を底に上昇基調に反転

# 契約業績のポイント③

## ○ 解約・失効の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円）

	平成22年度		前年同期比（差）	平成21年度
	上半期			上半期
解約・失効率	2.89%	△0.32ポイント		3.21%
解約・失効高	31,542	△16.0%		37,569
解約・失効年換算保険料	380	△12.7%		435

## ○ 総合継続率の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：%）

	平成22年度		前年同期差	平成21年度
	上半期			上半期
13月目総合継続率	93.5	1.8ポイント		91.7
25月目総合継続率	83.4	3.7ポイント		79.7

（注）総合継続率は、契約高ベースにて算出しています。

### クオリティ指標

#### 解約・失効率

前年同期差 0.32ポイント改善

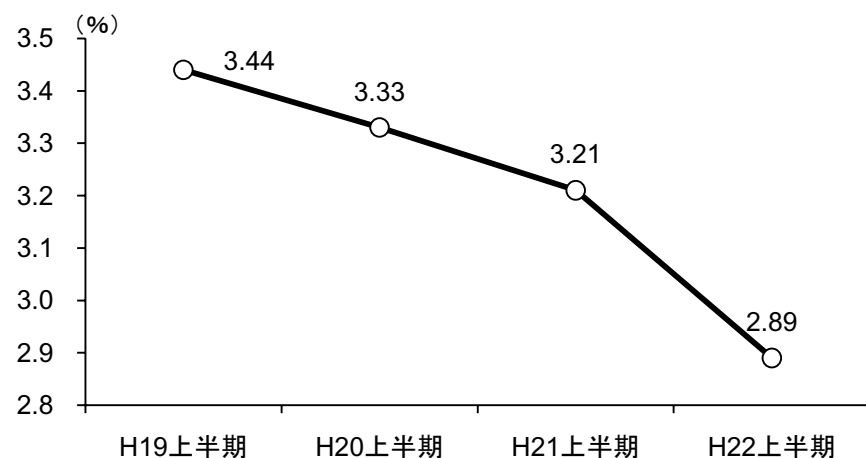
#### 総合継続率

13月目… 1.8ポイント改善

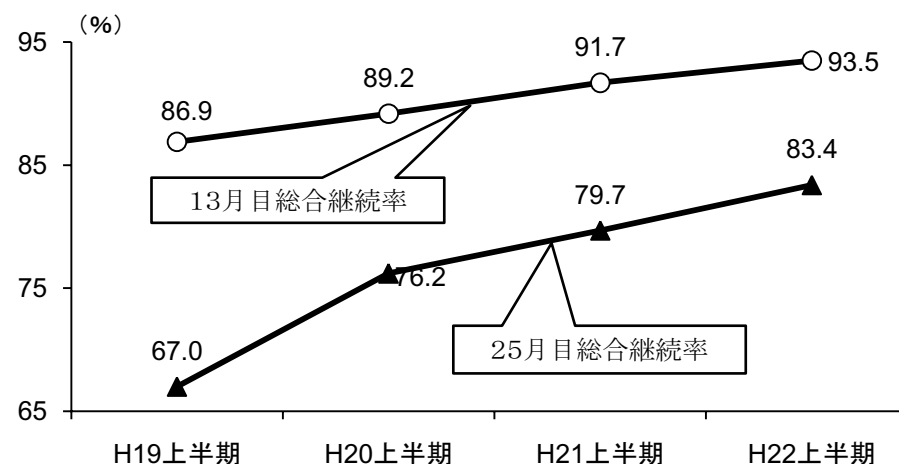
25月目… 3.7ポイント改善

◇ クオリティ重視運営と安心サービス活動を通じた定期訪問を継続推進し、クオリティは着実に改善

### ・ 解約・失効率の推移



### ・ 総合継続率の推移



# 収益性指標

## ○ 基礎利益

(単位：億円)

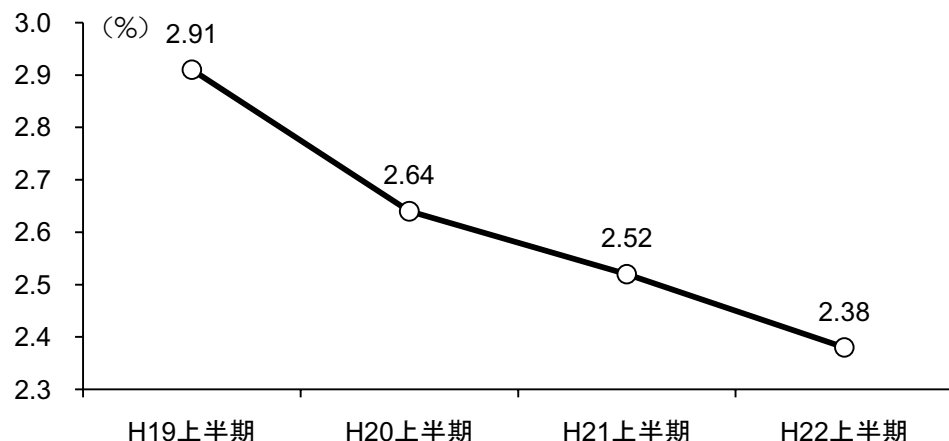
	平成22年度		平成21年度 上半期
	上半期	前年同期差	
基礎利益	1,639	293	1,345
逆ざや	△ 60	358	△ 419
費差	190	△39	229
危険差	1,509	△25	1,535

## 《ご参考①》平均予定利率

(単位：%)

	平成22年度		平成21年度 上半期
	上半期	前年同期差	
平均予定利率	2.38	△0.14 <sup>ポイント</sup>	2.52

## 《ご参考②》平均予定利率の推移



## 基礎利益

逆ざやは着実に改善し、基礎利益は前年同期差293億円の増加

1,639億円 (前年同期比21.8%増加)

◇ 逆ざやは、円建公社債の積増し等による利息収入の増加、および企業業績改善に伴う株式の増配等により、利息及び配当金等収入が増加し、大幅に改善  
(前年同期差358億円改善)

◇ 平成19年度から3年間の計画的な追加責任準備金の積み立てと、継続的な取り組みにより、負債コストである平均予定利率は着実に低下

# 健全性指標①

## ○ ソルベンシー・マージン比率

(単位：億円、%)

	平成22年度		平成21年度末
	上半期末	前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率	1,251.7	64.2 <sup>ポイント</sup>	1,187.5
ソルベンシー・マージン総額 (A)	34,817	605	34,212
リスクの合計額 (B)	5,563	△ 199	5,762

(注) ソルベンシー・マージン比率 = (A) / (1/2 × (B)) × 100

### ソルベンシー・マージン比率

**1, 251. 7%**

(前年度末差 64. 2ポイント上昇)

◇ 資産運用リスクの圧縮等に取り組み、  
1, 200%台を回復

## ○ 実質純資産額

(単位：億円、%)

	平成22年度		平成21年度末
	上半期末	前年度末差	
実質純資産額	36,998	1,991	35,006
一般勘定資産に対する比率	14.8	0.4 <sup>ポイント</sup>	14.3

### 実質純資産額

**3兆6, 998億円**

◇ 一般勘定資産に対する比率は14. 8%

(前年度末差0. 4ポイント上昇)

## ○ 一般勘定資産全体の含み損益

(単位：億円)

	平成22年度		平成21年度末
	上半期末	前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	16,572	1,772	14,800
うち時価のある有価証券 <sup>(注)</sup>	13,831	1,782	12,049
うち公社債	7,176	4,782	2,393
うち株式	6,261	△ 3,334	9,596
うち外国証券	241	237	3

(注) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

### 含み損益 (一般勘定資産全体)

**1兆6, 572億円**

(前年度末差 1, 772億円増加)

◇ 株価下落により株式の含み益が減少した一方、金利低下により公社債中心に含み益が増加し、平成21年度末から増加

◇ うち時価のある有価証券については  
1兆3, 831億円

(前年度末差 1, 782億円増加)

## 健全性指標②

### ○ 国内株式含み損益ゼロ水準

	平成22年度上半期末	平成21年度末
仮に当社ポートフォリオが日経平均株価およびTOPIXにフル連動するとした場合		
日経平均株価ベース	6,900円程度	7,100円程度
TOPIXベース	620ポイント程度	620ポイント程度
株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出した場合		
日経平均株価ベース	6,800円程度	6,900円程度
TOPIXベース	610ポイント程度	610ポイント程度

### ○ リスク管理債権額

(単位：億円、%)

	平成22年度上半期末	平成21年度末
	前年度末差	
リスク管理債権額	296	299
貸付残高に対する比率	0.57	0.55
	0.02ポイント	

### 《ご参考》さまざまなリスクに対応するための内部留保等

(単位：億円)

	平成22年度上半期末	平成21年度末
	前年度末差	
内部留保等 <sup>(注1)</sup>	12,849	11,452
うち基金・基金償却積立金 <sup>(注2)</sup>	4,700	4,100
うち基金償却準備金	71	—
うち価格変動積立金	297	297
うち事業基盤強化積立金	112	60
うち危険準備金	5,368	4,734
うち価格変動準備金	1,887	1,849
内部留保等+追加責任準備金	18,638	17,314
	1,323	

(注1) 平成22年度上半期末で想定される剰余金処分にに基づく数値です。

(注2) 基金償却後の数値です。平成21年度末の金額は、平成22年7月の基金再募集前の数値です。

#### 国内株式含み損益ゼロ水準 (日経平均株価ベース)

- 仮に当社ポートフォリオが日経平均株価にフル連動するとした場合

**6,900円程度**

- 株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出した場合

**6,800円程度**

#### 内部留保等+追加責任準備金

**1兆8,638億円**

(前年度末差1,323億円増加)

- ◇ 追加責任準備金を加えた内部留保等は、金融危機前の水準に回復

# 海外保険市場での事業展開について

